

取組みの方向性

県民が総参加で、生活習慣病の発症及び重症化の予防のため家庭や働く場等あらゆる生活の場において健康づくりに取り組み、「健康長寿県日本一」の実現を目指す。

置賜地域の現状と課題

○生活習慣病

- ・特定健診受診率は上昇傾向
- ・メタボ該当者及び予備群割合が高い

○高齢期の健康づくり

- ・高齢化率、一人暮らし高齢者割合の増加

主な取組み

○生活習慣病予防

- ・特定健診等受診率向上に向けた情報交換や検討(継続)
- ・保険者と医療機関(公立置賜総合病院)が連携した糖尿病重症化予防モデル事業
糖尿病対策会議、研修会、南陽市東置賜地区での連携体制構築(R2)
- ・出前講座による普及啓発
- ・受動喫煙防止対策の普及啓発 R2.4.1改正健康増進法の周知

○高齢期の低栄養予防

- ・低栄養予防リーフレット、出前講座等による情報発信
- ・低栄養予防研修会、検討会
- ・低栄養予防レシピ集の普及啓発(R2)、レシピ集普及研修会(R2)
- ・栄養支援拠点の支援
- ・置賜地域在宅訪問栄養相談(継続)
栄養支援拠点の管理栄養士による生活の場に沿った在宅訪問栄養相談

生活習慣病予防
重症化予防在宅高齢者の食の自立
低栄養(介護)予防生活習慣病予防
重症化予防

医療

福祉・介護施設

企業・経済団体

保険者

米沢栄養大学

保健所

栄養支援拠点
(置賜地域栄養ケア・ステーション)

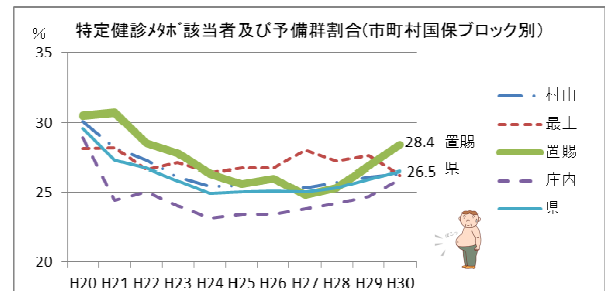
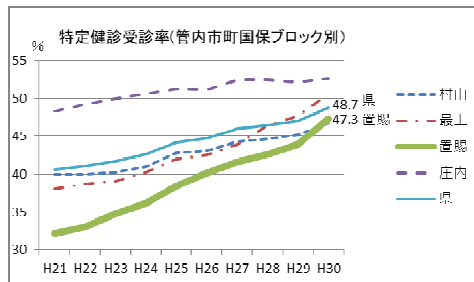
市町

ボランティア団体・地域住民

個人の取組みと個人を
取り巻く環境づくり食からの
低栄養予防

参考(地域の状況)

○生活習慣病関連



○高齢期の健康づくり関連

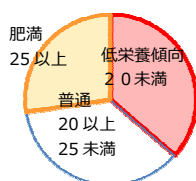
(単位:%)		村山	最上	置賜	庄内
高齢化率	H31	31.0	35.0	33.2	35.0
県平均 32.7%(H31.4 現在)	H22	26.0	28.9	27.8	28.7
一人暮らし高齢者の割合	H31	11.6	11.4	12.0	11.5
県平均 11.6%(H31.4 現在)	H22	7.8	7.2	9.1	9.2

※県高齢社会関係資料集「県健康と福祉」県長寿社会政策課調べ

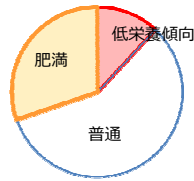
H29 年度 高齢期の食に関するアンケート調査(置賜保健所)

【対象者】置賜地域2町の介護予防事業参加者 65歳以上120人
一般高齢者76人(以下一般)、虚弱リスクがある高齢者44人

低栄養傾向と肥満の割合(BMI)

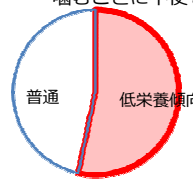


虚弱リスク有

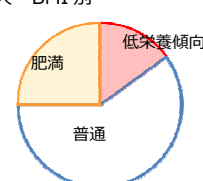


一般

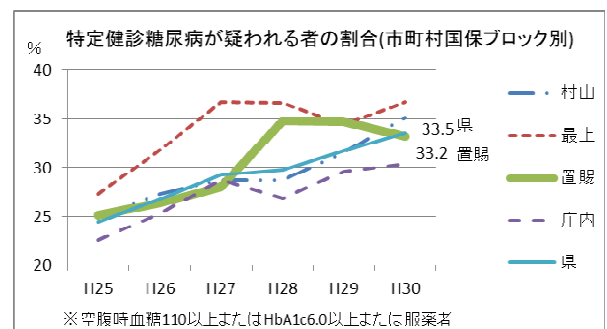
噛むことに不便を感じる人 BMI別



虚弱リスク有 n=15



一般 n=20



※空腹時血糖110以上またはHbA1c6.0以上または服薬者